

田中康夫「小沢・鳩山が主軸」

新党日本代表で才人の田中康夫氏が27日、「小沢代表への評価」を語った。

「いまの小沢代表、鳩山幹事長のコンビが民主党の主軸。参院選はこの2人の顔によって勝てた。小沢・鳩山ならまかせてもよい、と。全国農・漁業者、商業者、勤労者が、安心して信託できるのがこの2人。田舎でも勝てた原動力だ」

いま小沢辞任論があるが。「他の人たち、岡田、前原、枝野、菅などこの2人でない顔に替わったら、民主へ来てる保守票が自民に戻る。他の人たちには、政治的に最も大切な体温のぬくもりがない」小沢氏のどこを評価するのか。

「中曽根大勲位が『小沢君は成長した』と書いた。いま小沢一郎しかない、という意味だ。党内から労組までまとめるマネジメント力、人事、選挙の候補者選びも含めたキャスティング力。どれをとっても与野党を通じてNO.1だ。当然、強権だ、原理主義だ、と警戒される」



3724

政策より政局、とも言われるが。「政策を実現する上で、政局をいかに使うか、を考えている。冷徹なのだ」24日の記者会見にあたってアドバイスをした、と聞くが。

「小沢は戦う人、動の人だ。しかし、ここは『静の小沢』をテレビ画面に見せたらよい、と。とつとつと黙々と日本をよりよく変えるために邁進している小沢を伝えたかった」日本をどう変えるのか。「いまの政治は『官治』だ。19

40年体制ともいう。人事、予算、法案を匿名性の役人組織がや

っている。自民党はこれに乗っている。小泉は世の中を変えたフリをした。変えるフリすらできないのが麻生。小沢は『1940年体制を作り直す』と言っている。これを『民

治』に変えるのは小沢しかいない」

「この小沢をいやだと思う人がいる。小沢を排除しようとした。検査も含め官僚から見れば、政権交代になっても、小沢以外なら怖くも何ともない」

「マスコミも検察に乗って合唱している。私は政、官、財、学者、報道を既存権益のペンタゴンと呼んでいる。これでは日本のダイナミズムがいよいよ失われる」小沢氏が必要だ、と。「日本では小沢でない政権交代は意味がない」

(政治評論家)

「小沢抜き政権交代は意味ない」